



人を優しくする お酒造りがしたい

盛川酒造(株)杜氏
盛川元晴さん

盛川元晴さん(44才)は、安浦でただ一軒の造り酒屋、盛川酒造で杜氏をされています。

この寒い季節が仕込みの最盛期で沢山の種類を造ります。お酒造りに携わるようになったのは、30才の時から。高齢化する杜氏の若返りと、日本の食文化に関心があったからだそうです。

他の蔵で修行をはじめ、7年前から杜氏になりました。

日本酒は複雑で数多くの行程と長い時間をかけて作られます。全てを把握・管理し、蔵の持つ良さを引き出さなければなりません。日々の発見や工夫で、イメージ通りのお酒が出来た時、杜氏としての喜びを感じるそうです。「日本酒は人を和ます力があり、楽しく飲めるお酒を造りたい。安浦は気候・自然・水が良い所。これからも地元の方に愛されるよう努力していきます」と熱く語っていました。



明治20年から変わらない酒造蔵



麹づくり(酒造りの大事な行程)

野路中切小学校 139年間ありがとう 閉校式・お別れ会 平成24年3月25日(日)



26名の全校児童たち

呉市立野路中切小学校は、明治6年に「知新舎」として創立。以来139年の長きにわたって、中切・原畑・内平地区の文化の拠点として数多くの人材を輩出し、地元はもとより全国各地で活躍されています。しかし、少子化の影響もあり3月末をもって閉校し、4月からは安登小学校と統合することになりました。小規模校ならではの教育で子ども達はいきいきと学習に打ち込み、学年を問わず仲良く遊ぶ姿が印象的でした。

今後も、子ども達にはこれまで以上に地域の皆様に守られながら、すくすくと成長してほしいと願っています。

あゆみ
野路中切小学校の



昭和10年頃の一代目校舍
野路村中切村組合立第一尋常小学校



昭和30年頃の二代目校舍
安浦町立野路中切小学校



昭和57年に完成した現在の校舍

キリンさんとお別れ

あいく幼稚園
閉園

学校法人浄念寺学園あいく幼稚園は、昭和54年に浄念寺門徒の浄財で設立され、33年間、828名の園児が遊び学んで来ました。多いときには100名が通園していましたが、少子化の影響で数も減り、平成24年3月31日をもって閉園することになりました。島本園長先生は「園児たちと過ごした一つ一つの行事全てが思い出であり宝物です」とおっしゃっていました。園児にとっても、あいく幼稚園の思い出がいつまでも宝物であるといいですね。また、年末には、お寺の鐘をつきに足を運び、園を偲んでいただければと思います。



NHK大河ドラマ

「平清盛」で 活気づく安浦!

平清盛で、NHK大河ドラマ史上最大の海上ロケが行われた安浦町。放送も始まり、毎回のように安浦の海が登場。全国から注目されるスポットになりました。グリーンピアせとうちでは、「清盛・海のみち展」が開催され、ロケ現場の紹介や、撮影に使われた海賊船が展示されています。

町内では、まちづくり協議会・観光協会が、安浦を訪れる観光客に向け、歓迎看板や横断幕を5箇所に設置。また、事業者や商店に対し、清盛の「のぼり旗」を斡旋し、約200セット以上の協力がありました。

町外からのお客様を「おもてなしの心」でお迎えしよう。平清盛で一丸となって盛り上がりましょう。そんな「安浦の心意気」がひしひしと伝わってきますね。



幹線道沿いに設置された歓迎看板



国道185号沿いの「のぼり旗」

清盛・海のみち展 グリーンピアせとうち

2013年1月14日まで

開館時間 9時～17時

入場料 大人400円・小中学生200円



第5回 安浦かき祭り

2月26日(日) 今が旬!
午前9:00～
実成新開グランド

12,000個の殻付きカキを用意



アマモの海で育った
安浦かき!

広島県を代表する冬の味覚「広島かき」ですが、養殖される海域によって、味はもとより大きさ・色など特徴があることはあまり知られていませんよね!

安浦かきは、三津口湾の塩分濃度が高いため「身は小ぶりだが引き締まっている」ことが特徴です。

かき屋さんの1日は早く、まだ日が昇る前から沖合に出航し、霜が降りているイカダで水揚げ作業から始まります。作業場に戻ると、殻から身を取り出す作業(かき打ち)を打ち子(娘)さんが行います。熟練になると、1日3,000個以上を打つそうです。

「安浦かきをどこで購入できるの?」と聞くと、三津口のかき作業場に行けば買うことができるそうです。「この時期の安浦かきは甘いよ!」とかき屋さんは口々に言います。



おでかけ情報 ……

2月

いなし安浦青空市 2月18日(土) 8:30～
いなしふれあい広場

3月

安浦ミュージカル 3月11日(日)
開演15:00～(開場14:30) 安浦公民館きらめきホール

いなし安浦青空市 3月17日(土) 8:30～
いなしふれあい広場

4月

安登公園(遊具施設) 4月1日(日)
全面オープン

三本松公園・野呂川ダムの桜開花
4月上旬

稚児公園のつつし開花
4月下旬～5月初旬

野呂山山開き 4月15日(日) 10:00～
野呂高原ロッジ横グランド

いなし安浦青空市 4月21日(土) 8:00～
いなしふれあい広場

稚児明神祭 4月22日(日) 9:00～
稚児明神・水尻神社

冬の味覚！安浦の寒ボラ



寒ボラの刺身

三津口湾で獲れたボラ。「えっ！ボラって食べられるの？臭いんじゃない」と思われがちですが、実はそうではないボラがいるんです。

浅瀬や河口でよく見られるボラと違い、瀬戸内海を回遊するものは臭みが少なく、特に冬の脂が乗った「寒ボラ」は美味とされ人気がある旬の魚です。大きいもので全長80cm程。身は歯ごたえのある白身で鮮やかな赤色。刺身・洗い・煮付けなどに最適です。

また、メスの卵巣を塩漬けし乾燥させたのが高級食材の「カラスミ」で、世界各地で加工されています。

その時の漁にもよりますが、「安浦かき祭り活魚ブース」で出会えるかも！

やすうら起業人シリーズ



Cars シタナカ

- 自動車販売
 - 中古車買取・販売他
- 安浦町内海北 5-1-5
電話：84-2245



代表の下中則幸（54歳）さんは大の車好き。若い頃から「将来は安浦で車屋をやりたい」という夢と、子供の手も離れ、これからの人生も車に関わっていきたい思いで、長年勤めていた広島トヨタを退職し、平成23年9月に、「Cars シタナカ」をオープンしました。

地元の皆様に愛されるよう「お客様に満足して頂けるサービスの提供」をモットーに頑張っています。今後ともご愛顧、お引き立てを賜りますようよろしくお願いします。

まちづくり人材育成研修

平家伝説巡り・ワークショップを開催

まちづくり協議会主催による「人材育成研修事業」が行われ、6回の講座と最終回は、「安浦にこんな観光コースがあったらいいな〜」を考えるワークショップが行われました。

地域学講座「平家伝説めぐり」では、町内に点在する伝説地を巡る研修。参加者からは、「何十年も安浦に住んでるが、初めて訪れ感動した」など、大河ドラマとの相乗効果もあってか反響が大きいようでした。

また、ワークショップでは、グループでコース案を作成。様々なアイデアが出てきました。

今後も、まちづくり協議会では、より多くの方が気軽に参画できる事業を展開していきます。興味のある方は是非参加してみませんか！

第2の人生 車好きの夢叶い

地域学講座「平家伝説めぐり」



グリーンピア内の大泊 安登と川尻を結ぶ古道三ヶ峠

まちづくりワークショップ



安浦を4地区にわけて歴史や文化を掘り起こす地域学

～ふるさと再発見～

第4回 安登地区編

やすうら地域学

歩いて探そう
安登のお宝！



安登の由来

古くは阿戸村と呼ばれていたが、賀茂郡に2箇所の村が同名（熊野の阿戸村）だったことから、元和元年（1615）に「内海跡村（うちのうみあとむら）」とされ、昭和4年に「安登村」と改称した。昭和33年4月に一部の小用地区（川尻町と合併）を除き、安浦町と合併した。当時は、奥条・跡条・向野原・岡谷の4地区にわかれ、内海浦五力之庄の一つであった。昭和40年代後半から、小田野原・市迫地域に大規模な団地開発が形成され人口が急激に増加。呉のベッドタウン的な一面をもつが、自然豊かな海浜や田園風景が今も残っている。

